

第77回全国植樹祭大会テーマ募集要領

1 趣旨

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・みどりに対する国民的理解を深めるために開催される国土緑化運動の中心的行事であり、毎年春に天皇皇后両陛下の御臨席のもと、式典行事や記念植樹を行うものです。

令和9年春季に奈良県で開催される「第77回全国植樹祭」を広く全国及び県民に周知し、開催機運を高めるため、開催理念や大会の基本方針を簡潔に表現する「大会テーマ」を募集します。

2 第77回全国植樹祭の概要

(1) 開催理念

- ① 森林環境の維持向上が国民生活の安定的な向上に不可欠であることが国民共通の理解となるとともに、森林と人との恒久的な共生を図るための取組を一層進める契機とします。

上記①の解説

森林が私たちの生活にもたらしてくれることには、色々な面があります。

- ・家や家具などの材料である木材を生み出す
- ・きれいでおいしい水を作ってくれる
- ・洪水や土砂崩れなどを防いでくれる
- ・様々な動物や植物が生きる場所になっている
- ・新鮮できれいな空気を作ってくれる
- ・森林浴やスポーツの場になりレクリエーションの機会をくれる など

こうした恵みを私たちが受けるには、森林が生き生きとして元気な状態でなければいけません。

私たちはこれまでの歴史の中で、森林を様々な形で利用してきており、今では人の手が全く入っていない森林の方が少なくなっています。しかし、日常生活の中で木をあまり使わなくなり、森林に関わる人が少なくなってきたことで、元気がない森も増えてきてしまっています。

奈良県では、場所によっては今までと同じように森を守り、また別の場所では自然に近い森になるように、自然の力を借りながら森と関わっていくような、新しい人と森林との関係を築いていこうとしています。そして、それが豊かな森林を未来の子どもたちに残していくことにつながるはずです。

私たちは、第77回全国植樹祭をきっかけに、このような奈良県の新たな挑戦・取組を、県内そして全国の方々に知ってもらい、希望が湧いてくるような大会にしたいと考えています。

- ② 私たちが今見ている森林はさまざまな歴史の積み重ねの上にあるという意識を持ち、伝統的な育林技術と木工技術が一体となり発展した「木の文化」を後世に伝えていきます。

＝ 上記②の解説

かつて日本では、大きな建物はすべて木で作られていました。日本の中心として都が置かれていた奈良県は、木を加工して使うことについても中心地だったと言えます。いまでも建っている中では、世界でもっとも古い木の建物と言われる法隆寺五重塔など、県内には多くの立派な木の建物が残っています。

また、奈良県は、人の手で木を植え、育て、切って、使う林業が営まれたもっとも古い地域のひとつと言われています。特に南部の吉野川流域で育った吉野杉や吉野ひのき 桧は、優れた木材として全国的に有名です。この地域の特徴的な木の育て方、森林を守るやり方は吉野林業と呼ばれ、日本の林業のお手本の一つになっています。

全国植樹祭の会場となる平城宮跡では、歴史的な建造物の復原が進められていますが、そこでも木を扱う技術が活かされ、奈良県産の大きな木が多く使われるなど、奈良県は、こうした昔ながらの木の使い方、木の育て方が、「木の文化」として今も息づく場所でもあります。こうした伝統は、多くの人たちが私たちに残してくれたものであり、一度なくしてしまえば、簡単には、あるいはもう二度と取り戻せないものです。

私たちは、第77回全国植樹祭をきっかけに、今も残る木の文化やそれを伝えてきた先人たちの営みを、県内そして全国の方に知ってもらい、関わる人たちすべての気持ちを新たにしよう大会にしたいと考えています。

- (2) 式典会場

平城宮跡（奈良県奈良市）

- (3) 第77回全国植樹祭基本構想

大会の基本的事項や考え方を定めるため、「第77回全国植樹祭基本構想」を策定しています。基本構想では、開催理念の背景や大会の基本方針など、より詳しい内容も記載しています。

ぜひ、下記 URL か QR コードからご確認ください。

(URL : <https://www.pref.nara.jp/67425.htm>)



[基本構想掲載サイト]

3 応募要領

- (1) 募集内容

第77回全国植樹祭基本構想の開催理念及び大会の基本方針を踏まえた大会テーマ（キャッチフレーズやスローガン）

(2) 応募資格

どなたでもご応募いただけます。

(3) 応募方法

次の方法のいずれかにより、(4)の記載内容を明記しての9の応募先までご応募ください。

- ・ はがき
- ・ 封書
- ・ ファクシミリ
- ・ 奈良スーパーアプリ

(URL: <https://nsa.pref.nara.jp/gap/applicationRegister?appmngid=a03J3000007jwrK&entry=1>)



[募集サイトQRコード]



[応募フォームQRコード]

(4) 記載内容

- ①大会テーマ
 - ②応募作品の説明(作品への思い・意図など)を50~150文字程度で簡潔に記入してください。
 - ③応募者の氏名(ふりがな)
 - ④郵便番号・住所・電話番号
 - ⑤児童・生徒の場合は学校名・学年
- ※学校で児童・生徒分を一括して応募される場合は、①②③⑤を明記した一覧表(任意様式)でも可

4 応募期間

令和7年3月17日(月)から令和7年5月13日(火)17時まで

※はがき、封書の郵送は当日消印有効、ファクシミリ、電子申請の場合は締切時間までに受信した作品を有効とします。

5 注意事項

- (1) 応募は、1人5点までとします。1人5点を超える応募があった場合には、事務局で1人5点になるよう選定します。

- (2) 作品は、自作かつ未発表（過去のコンクールで入賞していない）のものに限ります。
- (3) 入賞作品の著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む。）は、全て第77回全国植樹祭奈良県実行委員会に帰属するものとします。
また、第77回全国植樹祭奈良県実行委員会の解散後の入賞作品の著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む。）は、全て奈良県に帰属するものとします。
- (4) 入賞者は、当該入賞作品に関し、著作者人格権を行使しないものとします。
- (5) 入賞作品（最優秀作品）は、一部翻案をする場合があります。
- (6) 応募に必要な費用は、応募者の負担とします。
- (7) 応募作品は、原則返却しません。
- (8) 個人情報については、応募の確認、作品の審査、入賞者への通知、入賞作品の公表及び表彰以外には使用しません。入賞者の発表の際は、入賞者の住所（市町村名）及び氏名のみ公表します。（児童・生徒に関しては、学校名と学年も併せて公表します。）

6 近年の全国植樹祭大会テーマの例

開催年	開催県	大会テーマ
令和4年	滋賀県	木を植えよう びわ湖も緑のしずくから
令和5年	岩手県	緑をつなごう 輝くイーハトーブの森から
令和6年	岡山県	晴れの国 光で育つ 緑の心
令和7年	埼玉県	人・森・川 つなげ未来へ 彩の国
令和8年	愛媛県	育てるけん 伊予の国から 緑の宝

7 審査及び発表

- (1) 審査は、第77回全国植樹祭奈良県実行委員会 大会テーマ・シンボルマーク・ポスター原画専門委員会（以下、専門委員会）において厳正に行い、最優秀作品を大会テーマとして使用します。
- (2) 次の基準により審査を行います。
- ① 第77回全国植樹祭の開催理念・大会の基本方針をわかりやすく表現した作品となっていること。
 - ② 言葉の響き、リズムがよく、印象に残る作品になっていること。
 - ③ 過去の大会のテーマや、その他既存の作品に類似していないこと。
- (3) 入賞作品及び作者の発表は、令和7年8月頃に本人に通知するとともに、ホームページへの掲載や報道機関等を通じて公表する予定です。
なお、入賞されなかった方への通知は行いません。

- (4) 入賞作品については、各種イベント等での展示、印刷物への掲載を行います。
- (5) 入賞者の発表は、入賞者の住所（県もしくは市町村）及び氏名のみ公表します。
（児童・生徒に関しては、学校名と学年も併せて公表します。）
- (6) 別々の応募者による同一作品が入賞に該当する場合は、応募受付が最も早かった作品の作者を受賞者に決定します。なお、読みが同じで文字が異なる場合（例：読みが「もり」を表す表現に、もり・モリ・森・森林をあてる等）には、別作品として扱います。
- (7) 以下の場合、審査結果発表後であっても決定を取り消すことがあります。
- ① 公序良俗に反する場合
 - ② 提出書類に虚偽の記載をした場合
 - ③ 第三者の知的財産を侵害する恐れがある場合
 - ④ 法令又は本募集要領に反する場合

8 賞及び表彰

区分	点数	内容
最優秀賞	1点	賞状、副賞 50,000円 及び50,000円程度の奈良県産木材製品
優秀賞	3点程度	賞状、副賞 10,000円 及び10,000円程度の奈良県産木材製品

9 応募及びお問合せ先

第77回全国植樹祭奈良県実行委員会事務局（奈良県環境森林部森林環境課内）

〒630-8501

奈良市登大路町30

電話：0742-27-8119

FAX：0742-24-5004

E-Mail：kyousei@office.pref.nara.lg.jp